



タグラグビーセットの贈呈式を行った(右から)御代田昌平高ラグビー部監督、坂下県ラグビー協会理事長、渡辺幸手市長ら(提供)

タグラグビー セットを寄贈 幸手に県ラグビー協会 県ラグビー協会は1月

30日、幸手市の渡辺邦夫市長を表敬訪問し、タグラグビーセットを贈った。2019年ラグビーワールドカップへ向けた取り組みの一環。

幸手市の全小学校9校にはタグラグビーティーチャアの有資格者が在籍。坂下辰夫理事長は「市内全部の小学校に有資格者の先生がいるのは県内でも幸手市だけ」と幸手市のタグラグビーに対する理解に賛同した。

渡辺市長は、訪問した昌平高ラグビー部の御代田誠監督との会談で「昌平高校のグラウンドで、幸手市と杉戸町の小学生でタグラグビー大会を開きたい」と今後の取り組みについて説明した。